

長崎県岳連 3 月定例理事会報告

期日：平成 31 年 3 月 14 日（火）19 時～

場所：シーハット大村コミセン 2F 第 4 会議室

出席：会長、理事長、指導委員長、遭対委員長、競技委員長、国際委員長、自然保護委員長、
ジュニア委員長、事務局長

長崎山岳会、商短大山岳会、長崎山の会、学士山岳会、佐世保山岳会、諫早山岳会、
大村山岳会、東彼山岳会、雲仙市山岳協会、高体連

欠席：長崎登高会、北松山岳会、佐世保市役所山岳会、島原山岳会

議事

1 各委員会からの事業報告

競技委員会：IFSC ワールドカップに木下茜が出場。スロバキアで開催の世界大学 SC 選手権大会に出場し、原田がボルダリングで 7 位、大河内が 2 位を獲得。福井県で開催の第 74 回国体では成年女子がボルダリングで 1 位、リードで 5 位獲得。

指導委員会：遭対と合同で研修会を開催。

遭難対策委員会：緊急連絡網の改正。安易な気持ちでの登山や昼から登山をした登山者からの救助要請が多い。指導者養成研修会の報告。レスキュー研究会の活動報告。

ジュニア委員会：6 月開催の高体連報告。全国高等学校登山大会成績評価実施要領の提示。

2 平成 30 年度事業報告

3 各委員会からの次年度事業計画

競技委員会：4 月 28 日に九州ジュニアクライミング大会開催。財源不足のため、県岳連から 10～20 万円程度の補助を承認。前日に審判員及び SP 指導員の研修会を実施。後援予定大会発表。

ジュニア委員会：高総体雲仙山系。九州インターハイは 7 月に阿蘇山系で、全国インターハイは 8 月に祖母山系で開催。

自然保護委員会：自然保護指導員の推薦依頼。5 月末まで。

遭難対策委員会：警察、消防と合同の遭難救助訓練は平日になる予定。指導委員会と合同で安全登山研修会を開催予定。

4 平成 31 年度事業計画（案）を提示。4 月理事会で決定する。

5 JMSC（日山協）理事長会報告。加盟団体で不正経理問題が発覚した。後日処分がある。各県岳連においては名称に「スポーツクライミングを入れること」及び「法人化」の要請があった。名称変更について 4 月の理事会で提案したいので、各山岳会での意見集約をお願いします。

6 平成 31 年度登山大会は、東彼山岳会主管で 5 月 11 日～12 日に虚空蔵山系で開催。申し込みは 5 月 3 日までに。

7 役員改選：自然保護委員会は稗田委員長の後任に藤田委員長が就任。

8 その他：
・新人戦や春季選手権は財源不足のため、県岳連から 4～5 万円程度の補助を承認
・これまで岳連が受領した選手強化費は、県の監査を受けるのみであったが、今後は岳連の監事の監査も受けることとした。
・今回は、4 月 23 日を第 1 候補、16 日を第 2 候補日として開催予定。